

## 試聴会・訪問記収載

### 上新電機オーディオテクニカ製品試聴会報告 (2025.7.26)

#### 1. はじめに

上新電機日本橋店で開催されたオーディオテクニカのアナログ製品試聴会に行ってきました。

#### 2. 開催要項と使用機器

開催日：7月 26 日 (土)

1部：11時～12時30分

2部：14時～15時30分

開催場所：上新日本橋店 5F リファレンスルーム

使用機材：

レコードプレーヤー：AT-LPA2、AT-LP8X

カートリッジ：AT-VM740xML、AT-VM745xML、AT-VM750xSH  
AT-VM760xSL

ケーブル：AT-IC1000X、AT-TC1000、AT-SC1000

スピーカー：B&W 804D4

プリメインアンプ：キュフェーズ E-700

フォノイコライザー：キュフェーズ C-57



#### 当日のセッティング

当日の目玉は、新発売のプレーヤーAT-LPA2です。

試聴に先立って資料の提示や説明がありましたが、下記の記事にも紹介があります。

[https://online.stereosound.co.jp/\\_ct/17766156](https://online.stereosound.co.jp/_ct/17766156)



### 3. 試聴会の経過

上記スケジュールの第1部に参加しました。

前半は、AT-LP8Xを使用しての同社のカートリッジの聴き比べ、後半は新製品のAT-LPA2の紹介を周辺の条件を変えながら音質改善という構成でした。

まずは、AT-LP8Xのカートリッジの旧製品と新製品の比較から始まり、

AT-VM740xMLのアルミカンチレバーとボロンカンチレバーの違い、AT-VM740xMLからAT-VM750xSH、さらにAT-VM760xSLへと男性ボーカル、イーグルス、リンダ・ロンシュタット、ジャズのビッグバンドなどで、カートリッジのグレードの違いを検証していきました。

AT-VM760xSLでは、カラヤン指揮ベルリンフィルのヴィヴィアルディの「四季」と女性ボーカルがかかりましたが、「四季」では定位があまく、弦の質感ももどかしさが残りました。

ここで、カートリッジやケーブルを同じにして、AT-LP8Xから新製品のAT-LPA2に、プレーヤー本体だけを替えるとどうなるかをメータ指揮ロサンジェルスフィルのスターウォーズのテーマ音楽で比較しましたが、明らかに解像度が上りました。

ここからは、AT-LPA2の音質をさらに改善できるかどうかということで、ビル・エバンスで、純正MCカートリッジからグレードを上げるとうなるか、電源ケーブルを替えるとどうなるか、さらに戦艦ヤマトのテーマ音楽で、フォノケーブルをバランスケーブルに替えるとどうなるかなどのデモがあり、特にフォノケーブルの交換は大きな効果がありました。

最後にリクエストで、カラヤンの四季に戻ってもらったところ、AT-LPA2のバランスアウト、C-57のバランス受けのデフォルトの位相反転で、先ほどのアンバランスアウトに比べ、定位の改善や質感の改善がありました。なお、四季のグラモフォン盤が逆相であり、アンバランス接続では位相反転ではなく、定位が曖昧であったことがはっきりしました。アキュフェーズのフォノイコライザーはバランス受けのデフォルトで

は位相反転であり、アンバランス受けでは位相反転ではないということはアキュフェーズから以前に説明を受けていました。

#### 4. まとめ

新発売のプレーヤーAT-LPA2は、価格を考えると音質はよく、ケーブル類の交換やバランス接続の効果も期待できるものでした。

ちょうどカラヤンのグラモフォン盤の試聴により、アキュフェーズ C-57 のバランス接続とアンバランス接続の位相の違いが検証されたことは有益な知見でした。

以上